

おいおい、これはローレンス家の波花騎士じゃないか、
こんな格好で一体何があったんだい？

俺たちみたいな野盗にあっさり捕まったくせに、
さっきから復讐復讐って、笑わせてくれるよ。

私に手を出すなんて、必ず後悔するわよ。

長らく風呂に入っていないんだが、洗ってくれないか？波花騎士さんよ。
ときなさい、三下。

自分の立場が分かってないようだな。

なんならローレンス家をここで途絶えさせようか？

(……グン！)



そうそう、その調子だ。俺の身体に傷をつけるなよ、
でないとうなっても知らないからな？
(チッ……！)



優しくしたら調子に乗りやがって、痛い目みないと分からないようだな?!
ん?ーん!ー!
(殺す、絶対に殺す!)



おおお、イクぞー！おい、ロで受け止める！
(なにこれ気持ち悪い、もういやー！)



ゲホッ……ゲホゲホッ！くっ——
(ハァ、しょせん三下にてきるのもこの程度、あとで必ず……)

ふう、スッキリしたぜ。準備運動はここまでだ。

ちょ……何をするつもり?! 離して!

どうした、これで終わりだと思ったか? おいおい、
ローレンス家ではそう教わったのかい?

痛い！やめて！いたっ！裂ける――！

仕方ねえな、なら俺が波花騎士を女にしてやるよ(笑)。





うっ……ぐっ……んんんっ?!



(いや、なにこれ……)

ほら、一発目だ、喜べ。



殺す殺す殺す……絶対に殺す！

いやあ、こんなに搾り取られるとは……おい、お前らの番だぞ！



うるせえ、今楽しんでるところなんだ、待ってろ！

おい、早くしろ、俺の番だろ！



そしたら、ガキは継承者としてちゃんと育てないとなあ。

こんなに出して、絶対孕んだろ！